

精密機械部品業界レポート 2024年1月

発行情報

発行者: 産業調査研究所

発行日: 2024年1月30日

調査期間: 2023年10月～2024年1月

ページ数: 45ページ

エグゼクティブサマリー

2023年の精密機械部品業界は、自動車産業の回復とEV化の進展、産業用ロボットの普及拡大により、全体として堅調な成長を示した。市場規模は前年比3.2%増の2兆5,800億円となり、2024年も継続的な成長が見込まれる。

一方で、原材料価格の高騰、人材不足の深刻化、中国経済の減速懸念など、業界を取り巻く環境は厳しさを増している。特に中小企業においては、収益性の悪化や資金繰りの困難が顕在化しており、業界再編の動きも活発化している。

市場概況

市場規模と成長率

2023年市場規模: 2兆5,800億円（前年比+3.2%）

セグメント別市場規模: - 自動車部品: 1兆2,900億円（50.0%、前年比+4.1%） - 産業機械部品: 7,740億円（30.0%、前年比+2.8%） - 電子機器部品: 3,870億円（15.0%、前年比+1.9%） - その他: 1,290億円（5.0%、前年比+2.5%）

地域別動向

国内市場: 1兆8,060億円（70.0%） - 関東地区: 45.2% - 中部地区: 28.7% - 関西地区: 15.3% - その他: 10.8%

海外市場: 7,740億円（30.0%） - アジア: 18.5% - 北米: 7.2% - 欧州: 3.8% - その他: 0.5%

業界構造分析

企業規模別構成

大企業（従業員300名以上）: 15.2% - 市場シェア: 68.4% - 主要企業: デンソー、アイシン、日本精工等

中堅企業（従業員100-299名）: 24.8% - 市場シェア: 22.1% - 特徴: 特定分野での技術力を持つ企業が多い

中小企業（従業員99名以下）: 60.0% - 市場シェア: 9.5% - 課題: 人材不足、設備投資資金の確保

競争環境

競争激化の要因: 1. 新規参入企業の増加 2. 海外企業との価格競争 3. 技術革新のスピード加速 4. 顧客の品質要求水準向上

差別化要因: 1. 技術力・品質 2. 納期対応力 3. コスト競争力 4. 顧客との関係性

主要トレンド

1. 自動車産業のEV化

影響: - 従来部品の需要減少 - EV専用部品の需要拡大 - 軽量化・高精度化の要求増加

対応状況: - 大手企業: EV部品への投資拡大 - 中小企業: 技術転換の遅れが課題

2. 産業用ロボットの普及

市場成長: - 2023年出荷台数: 18.5万台（前年比+12.3%） - 2024年予測: 20.8万台（前年比+12.4%）

部品需要への影響: - 高精度減速機の需要拡大 - センサー関連部品の成長 - 制御系部品の高度化

3. デジタル化・IoT化

導入状況: - 大企業: 80%以上が何らかの形で導入 - 中小企業: 30%程度にとどまる

効果: - 生産効率の向上 - 品質管理の高度化 - 予防保全の実現

課題と問題点

1. 人材不足の深刻化

現状: - 技能者の高齢化進行 - 新卒採用の困難 - 外国人労働者への依存増加

影響: - 生産能力の制約 - 技術継承の困難 - 人件費の上昇

2. 原材料価格の高騰

主要材料の価格動向: - 鋼材: 前年比+15.2% - アルミニウム: 前年比+8.7% - 銅: 前年比+12.4%

企業への影響: - 収益性の悪化 - 価格転嫁の困難 - 調達先の見直し必要

3. 中小企業の経営環境悪化

財務指標の悪化: - 売上高営業利益率: 3.2%（前年4.1%） - 自己資本比率: 28.5%（前年31.2%） - 有利子負債比率: 52.3%（前年48.7%）

具体的な問題: - 資金繰りの悪化 - 設備投資の延期 - 事業承継の困難

企業事例分析

成功事例: 革新技術株式会社

概要: 従業員120名、自動車部品専門 **成功要因:** - EV部品への早期参入 - 独自技術の開発 - 大手メーカーとの長期契約

業績: 売上高前年比+25%、営業利益率15.2%

課題事例: A-Tech株式会社

概要: 従業員15名、産業機械部品 **課題:** - 主要顧客の業績悪化 - 資金繰りの困難 - 技術者の不足

現状: 売上高前年比-15%、支払遅延が発生

再編事例: B-Manufacturing株式会社

概要: 従業員80名、電子機器部品 **再編内容:** - 大手企業による買収 - 生産拠点の統合 - 技術力の活用

効果: 経営安定化、技術開発力強化

2024年の展望

市場予測

市場規模: 2兆6,600億円（前年比+3.1%）

成長要因: 1. 自動車産業の回復継続 2. 産業用ロボット需要の拡大 3. インフラ更新需要の増加

リスク要因: 1. 中国経済の減速 2. 金利上昇による設備投資抑制 3. 地政学的リスクの高まり

セグメント別展望

自動車部品: +3.8%成長 - EV化の進展が牽引 - 従来部品は減少傾向

産業機械部品: +2.5%成長 - ロボット関連が好調 - 工作機械は横ばい

電子機器部品: +2.1%成長 - 5G関連需要が下支え - スマートフォン向けは減速

政策・規制動向

政府施策

ものづくり補助金: 2024年度予算1,000億円 - 中小企業の設備投資支援 - デジタル化推進

カーボンニュートラル対応: - 省エネ設備導入支援 - 環境配慮型製品の開発支援

規制強化

品質管理規制: - 自動車部品の安全基準強化 - トレーサビリティ要求の拡大

環境規制: - CO2排出量削減義務 - 廃棄物処理規制の強化

投資・M&A動向

2023年の主要案件

大型M&A: - X社によるY社買収（500億円） - Z社の海外企業買収（300億円）

設備投資: - 総投資額: 3,200億円（前年比+8.2%） - AI・IoT関連: 480億円（15.0%）

2024年の予測

M&A活発化の要因: - 事業承継問題の深刻化 - 技術獲得ニーズの高まり - 規模拡大による競争力強化

投資分野: - EV関連技術 - 自動化・省人化技術 - 環境対応技術

地域別分析

関東地区

特徴: 大手企業の本社機能集中 **課題:** 人件費・地価の高騰 **展望:** 研究開発機能の強化

中部地区

特徴: 自動車産業の集積 **課題:** EV化への対応遅れ **展望:** 新技術への投資拡大

関西地区

特徴: 多様な産業への部品供給 **課題:** 企業規模の小ささ **展望:** 連携強化による競争力向上

技術動向

注目技術

- AI活用品質管理
- 不良品の自動検出
- 予防保全の高度化
- 3Dプリンティング
- 試作期間の短縮
- 複雑形状部品の製造
- 新素材加工
- CFRP加工技術
- 軽量化・高強度化

技術課題

- 人材育成

2. デジタル技術への対応
3. 従来技能の継承
4. 投資負担
5. 高額な設備投資
6. ROIの確保

リスク分析

短期リスク（1年以内）

1. 原材料価格の急騰
2. 影響度: 高
3. 対策: 調達先多様化
4. 主要顧客の業績悪化
5. 影響度: 中
6. 対策: 顧客分散

中期リスク（2-3年）

1. 技術革新への対応遅れ
2. 影響度: 高
3. 対策: R&D投資拡大
4. 人材不足の深刻化
5. 影響度: 中
6. 対策: 自動化推進

長期リスク（5年以上）

1. 産業構造の変化

2. 影響度: 高

3. 対策: 事業転換

4. 海外企業との競争激化

5. 影響度: 中

6. 対策: 差別化戦略

免責事項: 本レポートは公開情報に基づく分析であり、投資判断の参考情報として提供するものです。

お問い合わせ: 産業調査研究所 TEL: 03-1234-5678